

会議等結果報告書			
会議区分	会 議 ・ 打合せ ・ 協 議	文書番号	
		決裁期日	平成29年7月28日
名 称	第1回上富良野町協働のまちづくり推進委員会		
日 時	平成29年6月21日（水） 午後6時30分～午後8時00分		
場 所	役場3階 第2会議室		
出席者	協働のまちづくり推進委員14人（別紙名簿のとおり） 向山町長 事務局：町民生活課 鈴木課長、自治推進班 野寺主幹、船引主査 合計18名		

【進行：事務局（町民生活課長）】

◎委嘱状交付

向山町長から、委員2名（松井委員、松下委員）に委嘱状を交付。

◎町長あいさつ

大変ご多忙のところ、29年度第1回の協働のまちづくり推進委員会に参加いただきお礼申し上げます。平成21年に自治基本条例が策定されてから8年が経過している。条例の見直しが完了する平成30年までに委員の皆様におかれましては協働のまちづくりをスローガンに町民目線で条例の見直しする準備期間として2年間で内容の点検をしていただききたい。また、今年の上富良野町が120周年を迎える輝かしい年であり、町の総合計画に着手するあらたな年を迎えている。6次計画には町民の皆様の意見を反映させたい。少子化問題も含めて総合計画はまちづくりのためには重要と考えている。

今後も皆様には委員としてご活躍されることを期待している。

◎会長あいさつ

ご多忙のところお集まりいただきお礼申し上げます。昨年、自治活動奨励事業補助金とまちづくり活動助成事業を皆様から意見をいただいて見直ししたところ、今年は申請が多いと聞き、うれしく感じている。今年は住民会活動推進交付金の見直しを予定していることから、委員の皆様からの意見をもとに、町民の皆様が住民活動しやすい制度に見直ししたいと考えているため、委員の皆様の協力をお願いしたい。

このほかにも、津市からの市長・市民訪問団の来町が予定されているのでこちらも協力いただきたい。

※用務の為、会長のあいさつ終了後町長退席

## 1 説明・報告

### ① 協働のまちづくり推進委員会の経過について

### ② 会議の進め方について

事務局（野寺主幹）より資料1～2について説明。今年は住民会活動推進交付金の見直しのほか、5年ごとの見直しが必要な自治基本条例について、平成30年までに内容を検討するスケジュール等を説明。

### ③ 協働のまちづくり推進補助金について

事務局（船引主査）より資料3について説明。昨年、委員会での協議により新たに誕生した協働のまちづくり推進補助金については、広報紙に掲載して町民に周知。住民会・各団体からは申請が多数上がっている。

森本京子委員：文化連盟から分かれてできた有志の団体は補助金を活用することはできるか。

野寺主幹：コンサートや演劇等であれば教育振興課の自主企画芸術鑑賞事業を活用するといったように、協働のまちづくり推進補助金以外で補助金を受けられる場合はそちらを優先していたのが条件となっている。何もない場合は本補助金を活用可能。

## 2 議 題

### ① 自治基本条例の見直しについて

事務局（野寺主幹）より資料4について説明。自治基本条例は5年毎に見直しが必要であることから、5年目のH30年に向けて推進委員会で見直しを実施する。

H25年には町民生活課で条例に関するアンケート実施しているが、今回は企画商工観光課で第6次上富良野町総合計画の策定に向けた町民・役場職員へのアンケートに自治基本条例に関する内容が盛り込まれているため、この結果を活用して見直しを実施する。

稲毛会長：自治基本条例の見直しについて第2回で条例の学習をするが、1回で終わるのか。

鈴木課長：自治基本条例の見直し期限はH30年までであるため、H29年度は条例についての基礎学習やアンケート結果の共有化を行い、H30年度には見直しのまとめを行う。

持安委員：H25年に当時委員として条例の見直しを行った際には、提言書の内容に住民へ伝える努力をしてほしいとした。条例の内容がわかりづらいこともあるので、条例をもとにして活動している事例を8月か11月の会議で紹介してほしい。

### ② 住民自治活動推進交付金の見直しについて

事務局（野寺主幹）より資料5について説明。現在の交付金の算定方法は10年前の基準であり、住民会連合会からの聞き取りでは、「交付金が足りない」「交付金は足りないが、住民会で負担しても活動する必要があるのでは」という意見も出ているため、地域の意見をふまえて委員会から意見もいただき、交付金について見直しをすることをお知らせした。次回より見直しを実施。

持安委員：交付金を見直すとのことだが、市街地と郡部では活動条件が違い、郡部でも住民会ごとで活動の差がある。地域の状況を把握し、考慮するのか。

鈴木課長：住民会からの意見では、住民会活動、敬老会、クリーン推進員謝金などに分かれていた補助金等が奨励事業補助金として統合され、使い方を限定せずに一括交付されたことから使用目的が不明瞭になり使いづらいという意見もあった。また、過去10年間は問題把握をされていたことも分かったため、ここ1、2年で住民会への聞き取りし、問題把握に努めている。

### 3 その他

#### ① 三重県津市との友好都市提携20周年記念事業について

三重県津市との友好都市提携が20周年を迎えることから、7月15日(土)に記念フォーラムと津市訪問団歓迎交流会を実施予定。稲毛会長は交流会を主催する国内交流実行委員会委員であることから、所属団体である協働のまちづくり推進委員会に参加を求められている(それぞれ3名の枠)ため会議で出席者を確認した。出席者については下記のとおり。

- ・記念フォーラム出席者…佐藤委員、三島委員、岡和田委員、持安委員
- ・津市訪問団歓迎交流会出席者…三島委員、持安委員、柴田委員

#### ③ 次回会議について

次回会議については 8月30日(水) 18時30分～ 役場3階第2会議室を予定。

【会議録は決裁終了後、行政ホームページ、町政情報提供コーナーに公開】